

製品安全ニュース

vol.30

今月のトピックス

事故情報データベースには、平成22年6月以降の1年間に、扇風機に関する事故情報や相談情報が65件登録されています。その内容は、扇風機の発煙・発火・過熱等に関するものが51件と最も多く、次いで製品破損に関するものが6件となっています。

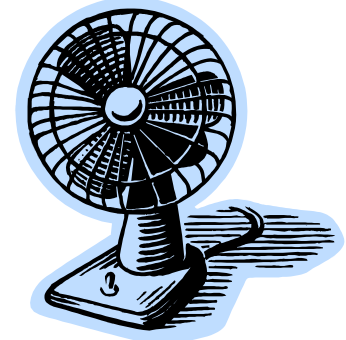
発煙・発火・過熱等に関するもののうち、当該扇風機の使用期間が明らかになっているもの(40件)の中では、使用期間9年以上と長年使用していた製品が23件を占めています。

長年使用している扇風機は、熱、湿気、ホコリなどの影響により、内部部品が劣化し、発煙・発火しやすくなっているおそれがありますので、ご注意ください。

消費者庁HPより

事故防止のために

- ・扇風機の使用に当たり、モーター部が異常に熱い、羽が回転するときに異音がする等の異常がないか、電源コードが損傷していないか等確認・注意をしてください。
- ・万が一異常があった場合には、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いた上でメーカーや販売店などに連絡するか、あるいは適切に廃棄してください。



平成23年5月の重大製品事故公表情報(消費者庁)

ガス機器・石油機器に関する事故	ガス機器・石油機器以外の製品に関する製品起因が疑われる事故					
	運動器具(EMS機器)	エアコン	電気こんろ	その他	その他の主な製品の内訳	
16	22	4	2	2	14	・自転車用空気入れ ・電子レンジ ・温水浴室乾燥機 ・加湿器 ・折りたたみ自転車 ・除湿機 ・電気温風器 ・ACアダプタ ・空気清浄機 ・テレビ ・ウォーターサーバー ・自転車

詳細な情報は、消費者庁のホームページをご覧ください。
(<http://www.caa.go.jp/safety/index.html>)

ヘアドライヤーの事故にご注意ください。

私たちの生活に身近なヘアドライヤーですが、以下のような製品事故の事例が報告されています。

(事例1)ヘアドライヤーの本体とコードの接続部から火花が出て、手にやけどを負った。

電源コードの本体側の付け根部分に屈曲した跡が認められることから、使用中や収納時に電源コードに繰り返しストレスが加えられたため、電源コードの芯線が半断線し、スパークが生じ、手にやけどを負ったものと推定されます。

(事例2)普段から着脱式のノズルが外れるため、ガムテープで固定していたヘアドライヤーを使用中に、着脱式のノズルが外れて腕にあたり、やけどを負った。

ノズルをガムテープで固定していたため、ヒーター熱でガムテープの粘着剤が軟化してノズルが外れて腕にやけどを負ったものです。ノズルが外れやすくなっていたのは、吸い込み口を塞ぐような使用をしていたことで、風の流れが阻害されてヒーターが過熱し、樹脂製の着脱式ノズルが熱変形したためです。

事例1のように、ヘアドライヤーの電源コード取付部に曲げや引っ張りなど繰り返しストレスを加えると、コードが断線してスパークが生じ火災が発生したり、やけどを負うことがあります。事例2のように吸い込み口を塞ぐように使用すると、ヒーターが過熱して熱変形することがありますので注意してください。

nite製品安全情報マガジン より

【発行】長野県 企画部 消費生活室

電話 : 026 - 223 - 6770

ホームページ : <http://www.nagano-shohi.net/seihin-anzen/>